

貸出開始! スーツケース教材「カレーキット」

カレーという身近な「食」を切り口に、子どもたちと文化の多様性や世界の相互依存関係について学んでみませんか?このキットは学校などで、子どもたちが実際の「モノ」にふれながら、自分と世界のつながりを学んでいくきっかけづくりの道具箱です。キットにはスパイスをはじめ、石臼、食器、衣装といった生活関連グッズが詰まっています。

●**キットの内容**
解説書(授業例など含む)、スパイスについて解説したガイド、ネパール音楽CD、食器セット、石臼、スパイスセット、衣装(サリー) など

●**貸出について** 【貸出期間】2週間以内



【貸出料金】
3,000円→1,000円(試用期間として2004年9月末まで)
【貸出方法】
宅配便又は直接事務所に引き渡し。(送料はご負担ください)
予約方法:キット利用状況を電話で確認して利用希望日を予約してください。
●問合せ・申込先 地球市民学習課 TEL:045-896-2898
●利用方法のセミナーあり(下記)
※地球市民学習リーダーセミナー「まなびの道具箱」など
<http://www.k-i-a.or.jp/currykit/>

コミュニケーション能力開発セミナー

様々な表現活動をととして、こどもの自己表現力を高め、コミュニケーション能力を開発するリーダーのためのセミナーです。



■**セミナーI** 7月19日(月)、20日(火)
①午前の組 10:00~12:30 ②午後の組 13:30~16:00(両日とも)
■**セミナーII** 8月10日(火)、11日(水) 13:00~15:00
場 所 (セミナーI、IIともに)1階創作スタジオ
対 象 主として教育関係者などの子どもの育成に関わる方
定 員 25名(各セミナーとも2日間連続参加可能な方)
参加費 無料 事前申込制(※展示室観覧料がかかります)
問合せ 地球市民学習課(担当 佐々木) TEL:045(896)2899
※月曜休み
URL <http://www.k-i-a.or.jp/news/yousei/yousei.html>

※地球市民学習リーダーセミナー「まなびの道具箱」



第1回:時事問題を教室へ～メディアラシー教材「グローバル・エクスプレス」(日本語版)を使って
●日時:7月30日(金) 13:30~16:00
●講師:石川一喜さん(拓殖大学国際開発教育センター非常勤講師/開発教育協会)

第2回:スーツケース貸出教材「カレーキット」を使った地球市民学習
●日時:8月20日(金) 13:30~16:00
●案内人:「カレーキット」作成協力者など(教員ほか)

【共通事項】
●会場:あーすぷらざ1階・会議室ほか(JR根岸線「本郷台」駅徒歩3分)
●対象:教育関係者、NGO関係者など30名(申込先着順)
●申込方法:①参加する回、②氏名(ふりがな)、③所属(学校名や団体名)、④連絡先(電話、FAX、Eメール)をすべて明記して、電話/FAX/Eメールでお申し込みください。ご参加いただけない場合のみ、こちらからご連絡します。
●申込先:企画情報課(担当:山内)
TEL: 045-896-2896 FAX: 045-896-2945
E-mail: kikaku@k-i-a.or.jp

パレスチナ難民の半世紀展～国連が支える難民の暮らし～



©UNRWA photo by George Nehmeh,1967

国際連合パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA・アンルワ)は、1950年の設立以来、中東のヨルダン、レバノン、シリア、ヨルダン川西岸及びガザに住むパレスチナ難民に、教育、保健衛生、福祉などのサービスを提供してきました。現在、アンルワに登録するパレスチナ難民の数は400万人以上。あーすぷらざでは、約80点の写真パネルを展示し、設立から半世紀あまり経った今日までの、アンルワの活動が支えているパレスチナ難民の暮らしを紹介します。

会 期 7月29日(木)～8月29日(日) 月曜日休館
午前9:00～午後5:00
会 場 あーすぷらざ 3階 企画展示室
関連企画 NGOが支えるパレスチナ難民の暮らし展
8月14日(土)～8月29日(日)
地球規模の課題に関するセミナー
「パレスチナ難民支援の現場から」
8月21日(土) 午後2:30～4:30
協力 (特活)日本国際ボランティアセンター(JVC)
入 場 無料
協 力 国際連合パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)
国際連合広報センター
問合せ 地球市民学習課 TEL: 045-896-2898

◆有料施設のご案内【保育室】



プラザや区民文化センターで催しものを開催する皆さんが、幼児の一時保育のために自主的にご利用いただける場です。また、育児サークル等のご利用も可能です。(50㎡)

区 分	平日		土・日・休日	
	AM9～PM5	PM5～PM10	AM9～PM5	PM5～PM10
保育室	1時間につき 400円	1時間につき 450円	1時間につき 500円	1時間につき 600円



発行:神奈川県立地球市民かながわプラザ(JR根岸線「本郷台」駅下車徒歩3分) <http://www.k-i-a.or.jp/plaza/>
企画・編集:(財)神奈川国際交流協会 <http://www.k-i-a.or.jp>
〒247-0007横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 問合せ:TEL045-896-2121 FAX045-896-2945

地球市民レポート THE GLOBAL CITIZENSHIP REPORT

NO.19
2004/7



Q これなんだろう?

次のページに答えがあるよ!



A— 答えは、地雷(じらい)です。

地雷とは、地面に置かれていたり、土の中にもぐっていたりして、人や車などが近づいたり、触ったりすることにより爆発する兵器です。世界には、さまざまな種類の地雷があり、全部で約340種類もあると言われています。



写真提供 PEACEBOAT

「悪魔の兵器」—それが地雷だ!

人間を傷つけることを目的とした地雷は、目に見えず、発見しにくく、どこに埋(う)められたかもわかりません。兵士(へいし)であろうと、子どもであろうと関係なく人をねらい続けるため、「悪魔の兵器」(あくまのへいき)と言われています。現在でも世界中の約90カ国で地雷によるさまざまな問題が発生しています。1年間で1万5千人から2万人もの人々が地雷の被害(ひがい)にあい、その内の7割は一般の人たちです。



地雷で傷ついた人々(ルワンダ)

世界中に埋められているであろう地雷は、正確には不明ですが、8000万から1億2000万個といわれています。人間を傷つけ、その生活や**未来までも奪う**地雷を無くすため、世界各国、民間団体がさまざまな**取組み**がなされています。



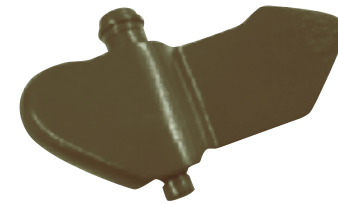
地雷を取り除いているところ 写真提供 PEACEBOAT

埋められている全ての地雷を取り除くためには、長い年月が必要です。それまで地雷と共に生活しなければならない人々にとって、地雷を知ること、**被害**(ひがい)をさける方法を知ること、**大変重要**なことです。学校でも地雷をさけるための**勉強**をしています。



写真提供 PEACEBOAT

あーす ぶらごでは、本物と同じ大きさの地雷を使って、地雷について勉強することができます。



参考文献等
「地雷問題ハンドブック」
[難民を助ける会]長有紀枝著 自由国民社
「地雷撲滅をめざす技術」
下井信浩著 森北出版
「人間が地雷をすてる日」
柳瀬房子著 大日本図書

PEACEBOAT
ホームページ http://www.peaceboat.org/index_j.html

特定非営利活動法人 難民を助ける会
ホームページ <http://www.aarjapan.gr.jp/index.html>

校外学習利用案内



校外学習の風景



国際平和展示室

地球市民かながわプラザでは、子どもたちに有意義な学習活動をしていただくための場を提供しています。参加型体験プログラムや各種ワークシートもあり、調べ学習にも対応できます。

●申込方法

利用日の1ヶ月前の日までに「申込書」「観覧料免除申請書」を提出してください。

●施設の収容能力

常設展示室は3つありますが、各展示室とも1度に入室し学習できるのは40名程度です。

●観覧料の免除

校外学習でご利用される場合、生徒、児童、園児及び引率の先生については、観覧料が免除になります。

※**問い合わせ先** 地球市民学習課
TEL:045-896-2898

2F映像ライブラリーには、地雷に関する図書、ビデオがあります。

図 書:「地雷なき地球へ」、「悪魔の兵器・地雷」、「地雷ではなく花をください」など

ビデオ:「THE GROUND 地雷撤去隊」、「地雷を踏んだらサヨウナラ」など



映像ライブラリー